

## 【 巻 頭 言 】

# 人間福祉研究第 21 号発刊にあたって

木 村 敦 子  
KIMURA Atsuko

広島文教女子大学に人間福祉学科が開設されて 23 年が経ち、2023 年 4 月には第 24 期の新入生を迎えることとなります。現場の指導者として卒業生と邂逅することも増え、本学が地域にしっかり根をおろしたのだと実感し、改めてその歴史に思いを馳せる機会が増えました。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大が世界中に影響を及ぼしました。大学の授業は、コロナ禍 3 年目に入り、対面を基本に一部オンラインで開講しています。社会人として活躍されている卒業生の皆様にとっては、利用者や患者の安全を守るため行動制限、三密回避等の自粛生活を継続されたことと思います。特に医療や福祉現場で勤務されている皆様にとっては、今年度も毎日が感染症の不安と隣り合わせの日々であったのではないのでしょうか。

昨年度オンラインで開催した人間福祉学会も今年度はハイブリット形式で開催をしました。2022 年度末をもって、人間福祉学科開設以前から本学に赴任され、学科設立に尽力された菅井先生、児童家庭福祉の専門家として実践的なご指導をいただいた宇都宮先生、実習や大学生活での支援をしてくださった保田先生、私の 4 名が退職します。代表して菅井先生に記念講演をいただきました。来年度も、状況を見ながらではありますが、人間福祉学会の開催を検討しております。また、しばらくお休みしております島根ブロック大会の開催を検討したいと思っております。

人間福祉学会は、学びの場であると共に、「文教だからこそ」の援助観やつながりを確認し、形にする場です。私たち自身も皆さんに負けないよう、これからもさらに多くの学びやつながりを提供していくことができたらと考えています。

ご存じの通り、本学は共学となり、「広島文教大学」と改名しました。今年度は、55 名の新入生を迎えましたが、そのうち 10 名が男子学生です。

社会福祉士・精神保健福祉士の養成カリキュラムが昨年より改正されました。地域共生社会の実現に向け、複合化・複雑化した課題を受け止める多様な機関の協働による体制作りにより、社会福祉士の役割が期待される中での改正です。実践力のさらなる向上に資するため、社会福祉士養成に求められる実習時間がこれまでの 180 時間から 60 時間増え、240 時間となることになっています。本学では、実習時間を 90 時間増やし、合計 270 時間の実習を 2 年間にわたって実施する予定です。今年度は 2 月より、新カリキュラムのソーシャルワーク実習 I を開講しました。卒業生に実習指導をお願いする機会が増えるかと存じます。今後も、本学卒業生として、福祉業界の維持・発展に向けてお力添え下さい。

ぜひ一度直接本学を訪れ、在学生に向けて多くの学びを授けていただく機会を持っていただければ幸いです。皆様におかれましては、今後ともご支援賜りますようよろしく願いいたします。